

平成23年度 事業概要

遠賀川

の魅力と活力

居心地のいい安らぎと愛着のある遠賀川をめざして。



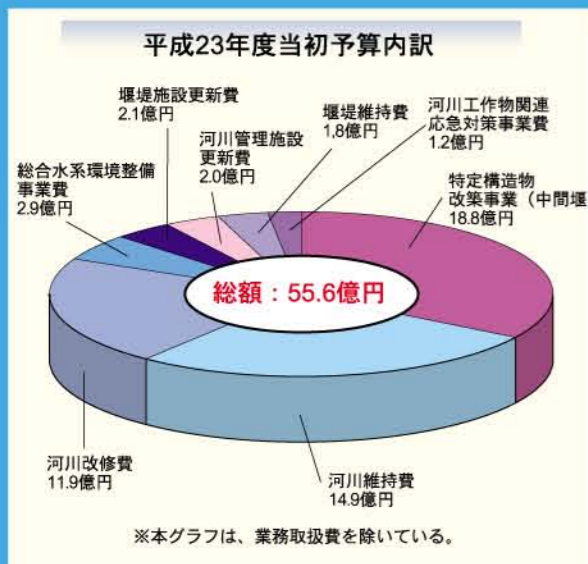
国土交通省九州地方整備局
遠賀川河川事務所



事業概要

遠賀川

遠賀川河川事務所は、安全で安心した暮らしを守るために、災害による被害を軽減する河川整備事業を強力に推進するとともに、遠賀川河口堰や堤防・樋管等の河川管理施設の維持管理、修繕及び遠賀川の水質改善や河川の利活用促進を図る河川環境整備等を実施します。なお、整備に当たっては、地域住民の方々の意見や提案等を聞きながら、地域と一体となった河川整備事業を実施します。



安心・安全



遠賀川流域は、古くから水害に襲われた歴史があり、平成15年7月、平成21年7月、平成22年7月豪雨などは記憶に新しいところです。事業を進めるにあたり、河川整備や河川空間の利活用を地域の方々と行政と一緒に考え、遠賀川を軸とした地域づくりも行っています。

環境



遠賀川流域では多くの人々が、河川の持つ多様な自然環境や水辺空間を潤いのある生活環境として活用しています。豊かな自然環境に恵まれた遠賀川では、多様な自然環境を保全・復元し、生物の多様性の回復を図るための魚道整備や、水辺空間の利用促進のため施設整備を行っています。

維持管理



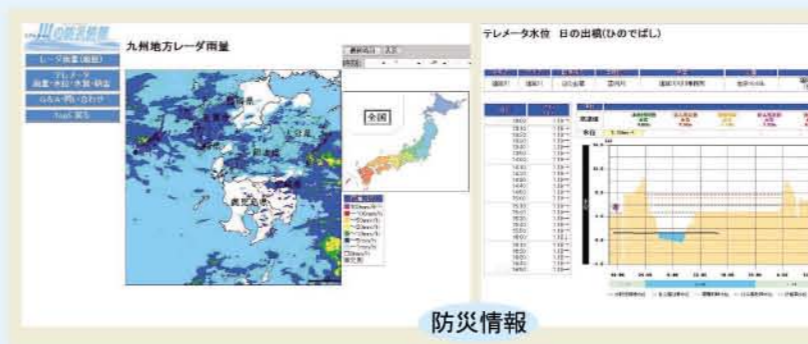
遠賀川には、洪水から暮らしを守るため、堤防や樋門樋管、水門、護岸などの施設が数多くあります。これらの施設を管理し、機能を発揮できるように維持していくため、河川の巡視や堤防の除草、施設の修繕などを行っています。

地域交流



遠賀川の流域内には、川に関するボランティア活動を行っている団体が数多くあります。各団体の活動の情報交換や川への想いを語る場として各出張所で交流会を行っています。

防災

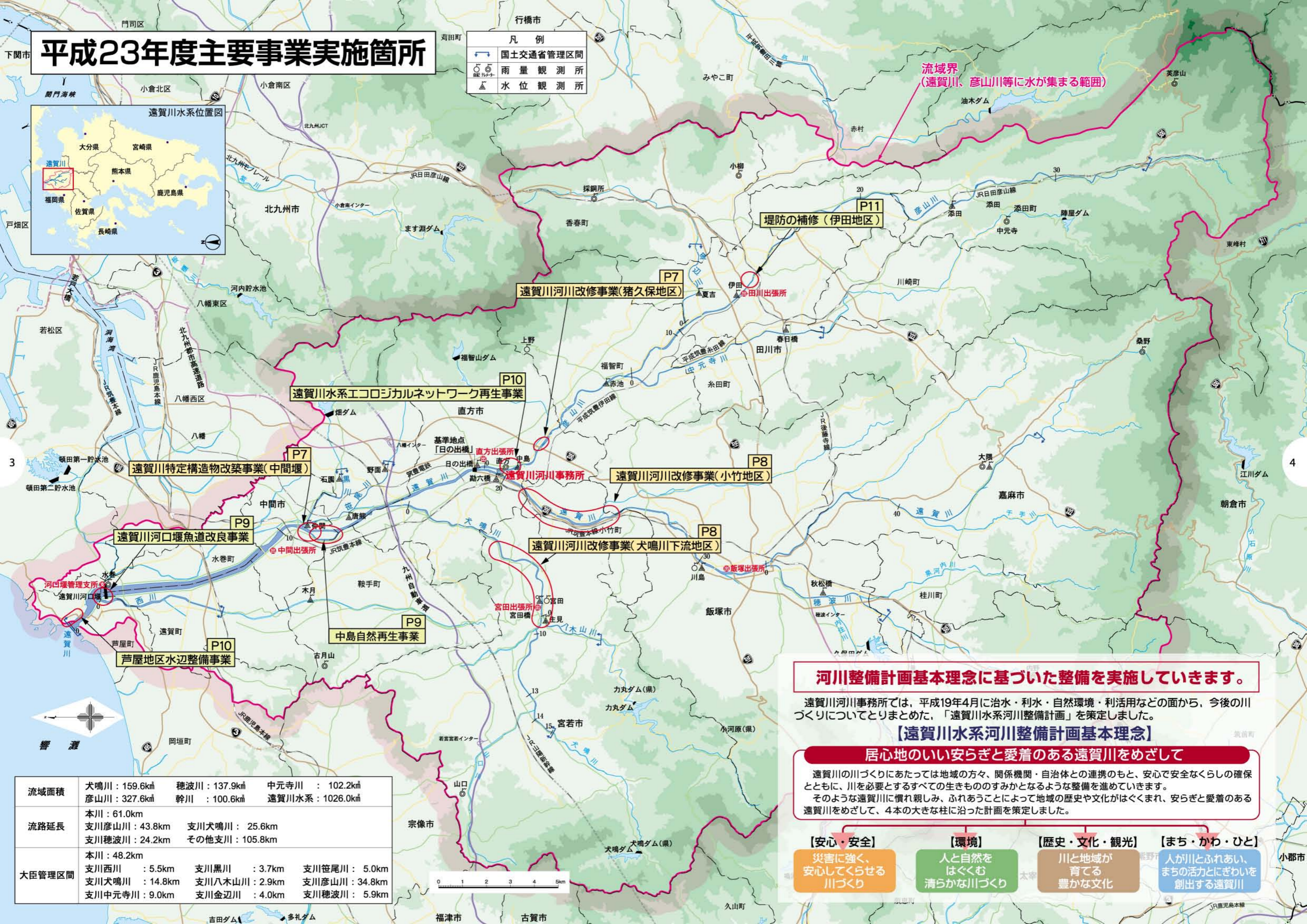


近年の豪雨は遠賀川流域に大きな被害をもたらしました。国土交通省や県では、もしもの場合に備えて、避難の目安になる雨量や水位など様々な情報の提供を行っています。

平成23年度主要事業実施箇所

凡例

	国土交通省管理区間
	雨量観測所
	水位観測所



流域面積	犬鳴川 : 159.6km ²	穂波川 : 137.9km ²	中元寺川 : 102.2km ²
	彦山川 : 327.6km ²	幹川 : 100.6km ²	遠賀川水系 : 1026.0km ²
流路延長	本川 : 61.0km	支川犬鳴川 : 25.6km	
	支川彦山川 : 43.8km	支川穂波川 : 24.2km	支川黒川 : 3.7km
大臣管理区間	本川 : 48.2km	支川八木山川 : 2.9km	支川笹尾川 : 5.0km
	支川西川 : 5.5km	支川金辺川 : 4.0km	支川彦山川 : 34.8km
	支川犬鳴川 : 14.8km		支川穂波川 : 5.9km
	支川中元寺川 : 9.0km		

河川整備計画基本理念に基づいた整備を実施していきます。

遠賀川河川事務所では、平成19年4月に治水・利水・自然環境・利活用などの面から、今後の川づくりについてとりまとめた、「遠賀川水系河川整備計画」を策定しました。

【遠賀川水系河川整備計画基本理念】

居心地のいい安らぎと愛着のある遠賀川をめざして

遠賀川の川づくりにあたっては地域の方々、関係機関・自治体との連携のもと、安心して安全な暮らしの確保とともに、川を必要とするすべての生きものすみかとなるような整備を進めていきます。そのような遠賀川に慣れ親しみ、ふれあうことによって地域の歴史や文化がはぐくまれ、安らぎと愛着のある遠賀川をめざして、4本の大きな柱に沿った計画を策定しました。

【安心・安全】 災害に強く、安心してくらす川づくり	【環境】 人と自然をはぐくむ清らかな川づくり	【歴史・文化・観光】 川と地域が育てる豊かな文化	【まち・かわ・ひと】 人が川とふれあい、まちの活力とにぎわいを創出する遠賀川
-------------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	--

事業実施による被害軽減効果

(飯塚・穂波地区)



平成15年7月豪雨による被害状況

河道掘削、排水ポンプ場の設置、橋梁架替などによって、洪水被害の軽減を図っています。

平成15年7月豪雨による被害を受けて河道掘削、排水ポンプ場の設置(3箇所)、橋梁の架替(1橋)等を実施。平成21年7月豪雨による出水では、同規模程度の出水であった平成15年7月洪水と比較し、飯塚・穂波地区において約3,400戸の家屋の浸水被害が軽減されました。

平成15年7月出水

平成15年7月の集中豪雨により遠賀川水系では甚大な浸水被害が発生しました。



直方地区浸水状況

飯塚地区浸水状況

学頭地区浸水状況

菰田地区浸水状況

浸水被害軽減対策

浸水被害を軽減する為、河道掘削と排水ポンプ場の設置、橋梁架替等を実施。

河道掘削

もっと多くの水が安全に流れるよう、掘削を行い河道を広げます。



洪水時に流木等が引っ掛からないよう、橋脚数(橋を支える柱)を減らします。

橋梁架替



橋脚 22基



洪水時

橋脚数が多く橋脚間が狭いと、流木等が引っ掛かり流れをせき止め、川の水が溢れる恐れがあります。



橋脚 5基

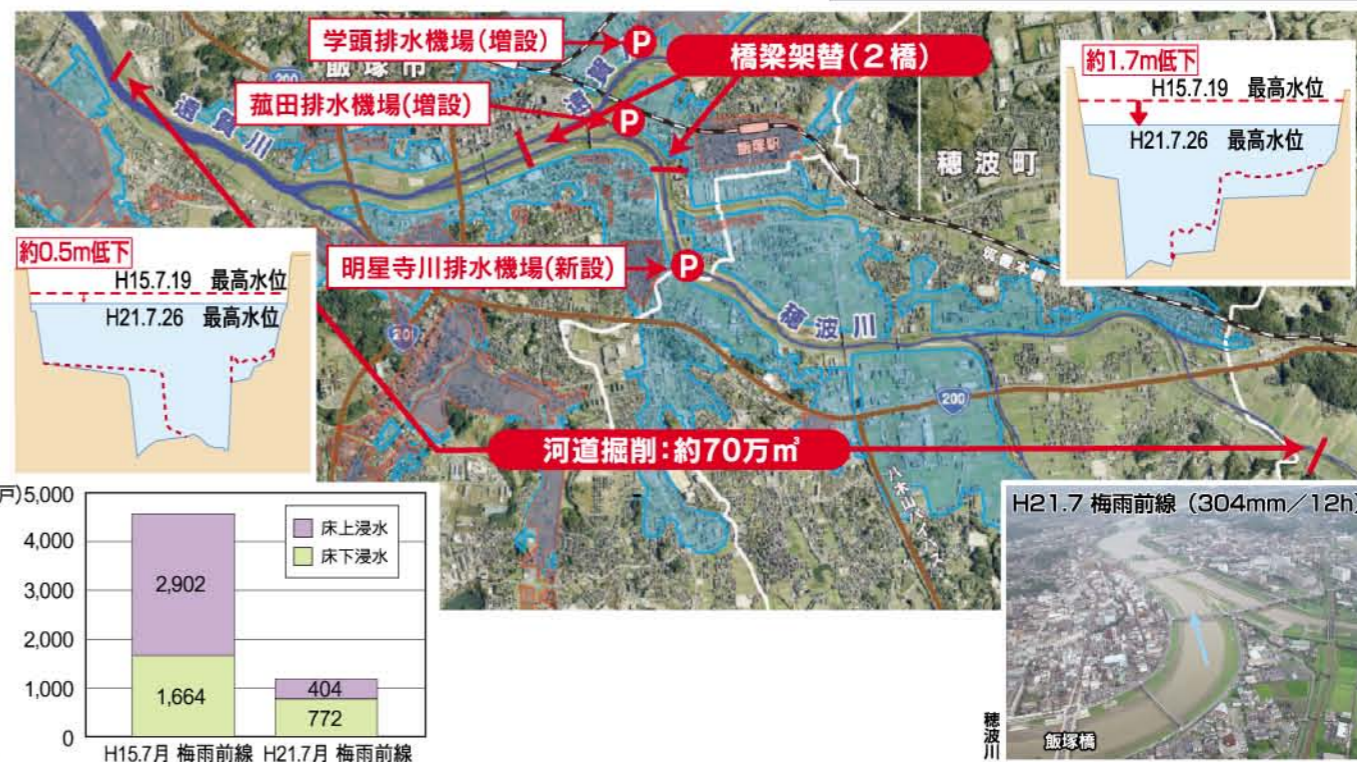


洪水時

橋脚の数を減らすことで、流れをせき止めることなくスムーズに流します。

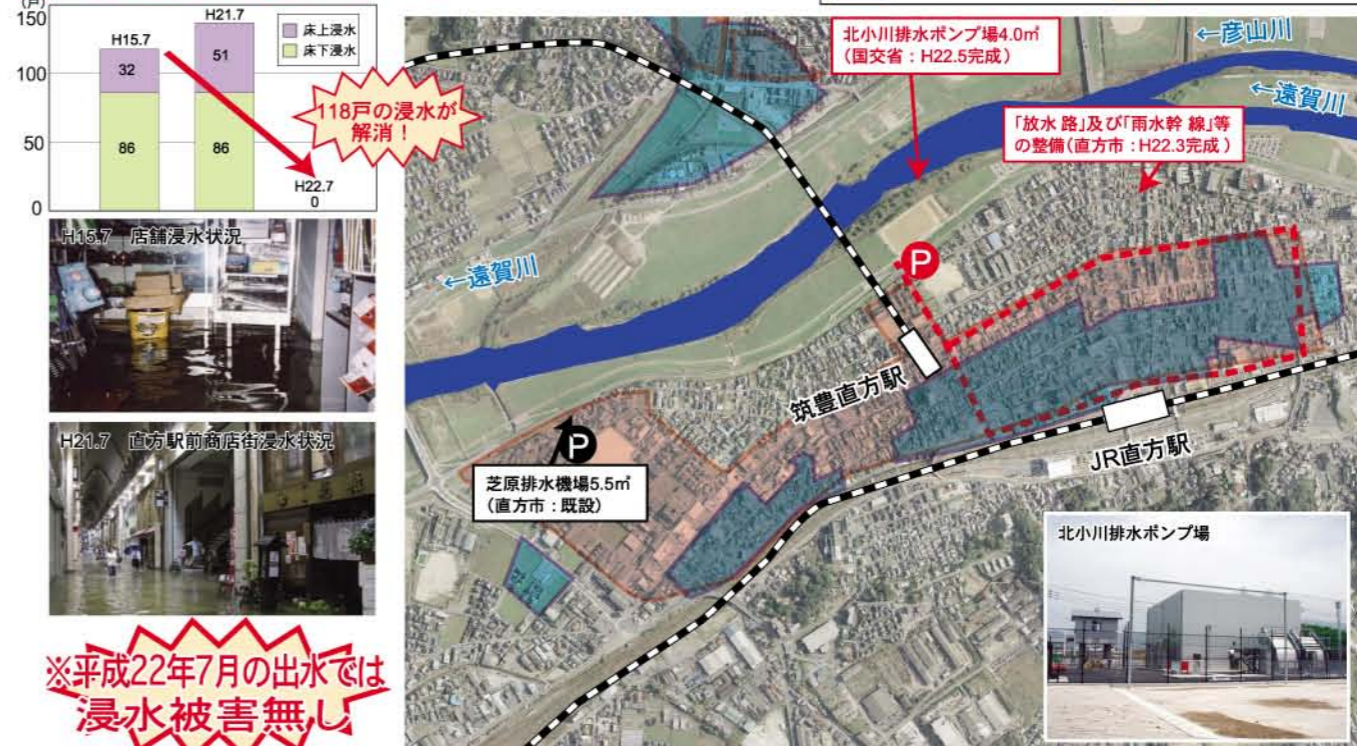
遠賀川(飯塚・穂波地区)床上浸水対策特別緊急事業の効果(平成21年7月 中国・九州北部豪雨)

平成14年度から飯塚・穂波地区の床上浸水対策特別緊急事業に着手し、河道掘削、排水機場の設置(3箇所)、橋梁の架替(2橋)等を実施。平成21年7月の梅雨前線による出水では、同規模程度の出水であった平成15年7月洪水と比較し、約3,400戸の家屋の浸水被害が回避されました。



遠賀川(直方地区)床上浸水対策特別緊急事業の効果(平成22年7月)

平成17年度から直方市街部の床上浸水対策特別緊急事業に着手し、北小川排水ポンプ場の設置等を実施。今回の梅雨前線による出水では、同規模程度の出水であった平成15年7月洪水と比較し、約118戸の家屋の浸水被害が回避されました。



※平成22年7月の出水では浸水被害無し

遠賀川特定構造物改築事業[中間堰]

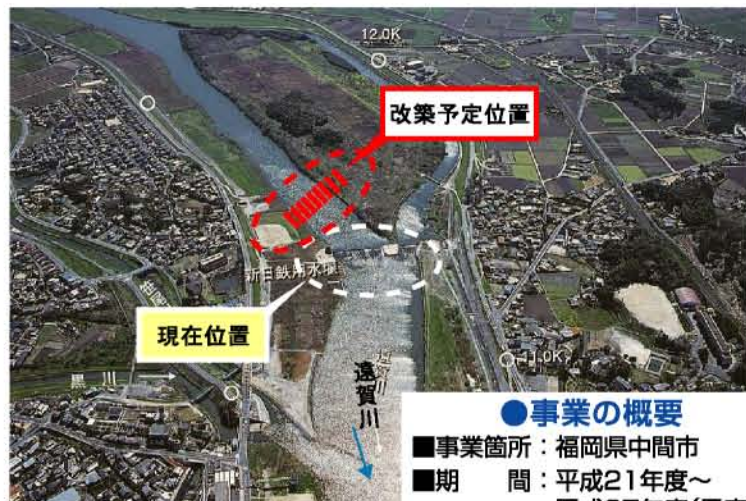
堰改築による治水安全度の向上

● 堰の改築と河道拡幅によって治水の安全度を高めます。

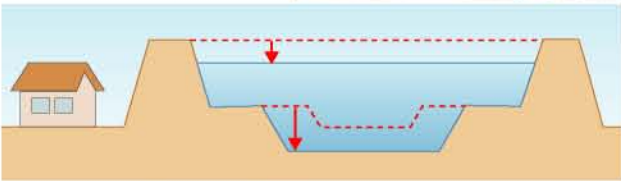
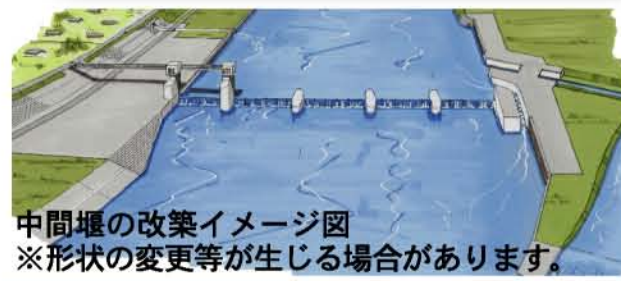
遠賀川11k300付近に位置する中間堰は、工業用水等の取水を目的として、昭和4年に設置された堰であり、周辺には市街地が広がっています。堰付近は河床が高く洪水の安全な流下を阻害する要因となっていることから、堰改築とそれに伴う河道拡幅を行い、河道断面を確保して、洪水時の水位を低下させることで被害の軽減を図ります。



現在の用水堰



- 事業の概要
- 事業箇所：福岡県中間市
 - 期間：平成21年度～平成27年度(予定)
 - 事業内容：堰の改築・河道拡幅



河道内の土砂を掘り、洪水時の河川の水位を低下させます。

遠賀川河川改修事業[猪久保地区]

堤防整備による洪水被害の軽減

● 堤防整備によって洪水の安全な流下と浸水被害の軽減を図ります。

平成21年、22年豪雨の影響によって、彦山川支川福地川の猪久保地区において浸水被害が発生しました。このような洪水を安全に流下させ、浸水被害を軽減するため、堤防高の不足している一連区間の堤防整備を実施します。



H22.7 猪久保地区の浸水状況



遠賀川河川改修事業[小竹地区]

堤防整備による洪水被害の軽減

● 堤防整備によって洪水の安全な流下と浸水被害の軽減を図ります。

平成21年7月豪雨により、堤防天端から約60cm下を洪水が流下するような大規模な洪水が発生しました。このような洪水を安全に流下させるため、堤防高の不足している一連区間の堤防整備を実施します。なお、小竹町ではJR、工業団地、町立病院周辺道路が冠水し、アクセスが遮断されるなどの内水被害が発生しました。



H21.7小竹町付近の浸水状況(小竹町立病院付近)



遠賀川河川改修事業[犬鳴川下流地区]

河道掘削による洪水被害の軽減

● 犬鳴川の河道掘削によって洪水の安全な流下と浸水被害の軽減を図ります。



犬鳴川・八木山川合流点(宮若市)

平成21年7月豪雨により、遠賀川水系犬鳴川は宮田橋水位観測所において、過去最高水位を記録する大規模な洪水が発生しました。このような洪水を安全に流下させるため、犬鳴川の河道掘削を実施します。

中島自然再生事業

多様な自然環境の保持・復元

● 中島の氾濫原やヨシ原を復元、創出し、河川の多様な水際景観を創出します。

遠賀川中流部では、流域の土地利用の変化や河川改修により、もともと河川や周辺にあった湿地（川の中のたまりや池など）が失われてきました。

また、河川改修が進み、川岸にコンクリート護岸が設置されたことにより、水際は単調となり、様々な生物が棲む空間が減少し、生物の多様性が低下してきました。

そこで、流域や河川で失われた湿地を創出し、多様な生物が生息する河川環境の再生を目的に、ヨシ原が減少し外来植物の繁殖が進んでいる中間市の中島において、掘削による湿地の再生及びヨシ原の保全を行い、次世代に引き継ぐ未来の遠賀川の川づくりを行います。



平成21年5月現在の中島の状況



整備イメージ



●地盤を掘り下げた後の湿地イメージ



地域の皆さんとワークショップや現地調査を実施しています



遠賀川河口堰魚道改良事業

遠賀川水系全体の魚類等の多様性回復

● 現況魚道を改良し、多自然魚道を新設します。

遠賀川河口堰の魚道は、遠賀川の最下流に位置することから、水系全体の魚類等の遡上や降下の出入り口で、川と海をつなぐ重要な魚道です。

そこで、種々の魚たちがのぼりやすいように、現在の魚道を大型魚用と小型魚用に改良し、多自然魚道として、魚道機能を向上することにより、遠体の魚類等の多様性回復を図ります。



下流側イメージ



現在の魚道

芦屋地区水辺整備事業

河岸の浸食をくい止めて、親水性を向上

● 良好な景観を取り戻し、河川利用の安全を確保します。

遠賀川の最下流部に位置する芦屋地区では出水や波浪の影響により、河岸の浸食が進んでいます。

また、本地区では芦屋橋の架け替えや周辺の環境整備が進んでおり、観光客の増加が見込まれています。

そこで、河岸浸食を防止し、良好な景観の復元及び観光客等の河川利用時の安全を確保するために、水制工にて砂浜を保全・復元し、階段や河川管理用通路を整備して、河川と親しむ空間を創出します。



芦屋河岸の侵食状況



地域の皆さんと清掃を実施しています



芦屋橋及び周辺環境整備促進協議会での説明



地元説明会の状況。活発な意見が飛び交います

遠賀川水系エコロジカルネットワーク再生事業

生物ネットワークの再生

● 樋門・樋管の段差を解消し、河川敷開水路を多自然化します。

遠賀川水系では数百にもおよぶ樋門・樋管により、川と田んぼ（水路を含む）が隔てられ、田んぼとの関連性の強い生物（ドジョウ類・ナマズなど）の生息・生育環境が損なわれています。

そこで、樋門・樋管出口および本川合流部における段差を解消し、田んぼ（水路含む）との連続性を回復させるとともに、コンクリート3面張りの河川敷開水路を多自然化することにより生物の生息・生育環境の改善を図ります。



ワークショップ状況



整備前

水門および排水路内における段差が移動障害となっているため、魚類等が本川と水田を行き来できません。



水門および排水路内の段差を改善するために、自然石等で緩勾配の魚道を設置します。

整備後のイメージ



本事業では、地域住民と行政がワークショップを通じて、活発な意見交換を行いながら効率的で効果的な事業の推進を図っています。

遠賀川の管理

河川を快適で安全な状態を保つために

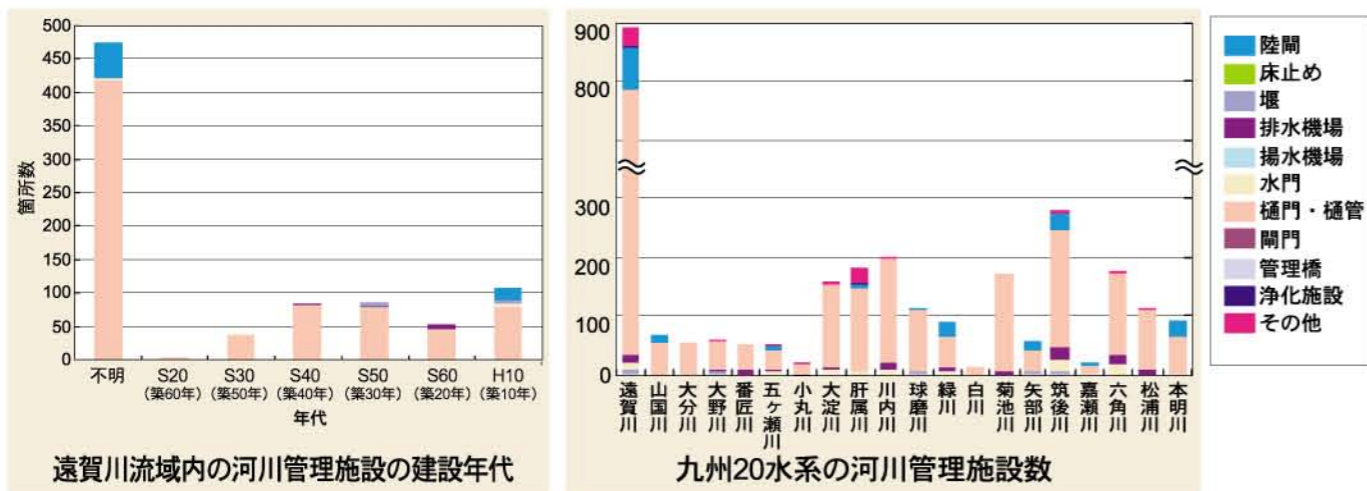
遠賀川が常に快適で良好な状態を保つように管理しています。洪水時に河川管理施設（堤防・護岸・樋門樋管など）がきちんと機能を発揮できるように点検、維持修繕などを行っています。

また、管理施設の異常や水質事故、河川へのゴミの不法投棄や不法占用などを監視するために河川巡視を実施しています。

事業概要の施設関連の実態について

遠賀川における河川管理施設の設置数は、樋門・樋管が約750箇所（九州第1位）、水門が10箇所（九州第3位）、排水機場が17箇所（九州第2位）、堰が7箇所（九州第1位）、床止めが36箇所（九州第1位）、陸開が76箇所（九州第1位）となっています。

このように遠賀川水系には、河川管理施設の全体数が多く、設置年度が古い施設や不明の施設も多くあり、流域で暮らす住民の生命と財産を守るためには、膨大な数の河川管理施設についての維持修繕が必要です。



河川管理施設の補修

パラペット堤防の補修を行い、治水の安全を維持します。

田川市伊田地区を流れる彦山川の堤防は約50年前にコンクリートで作られた堤防（パラペット堤防）であり、その一部で空洞化や剥離などの老朽化が進んでいます。

そこで、老朽化や空洞化したパラペット堤防の補修を行い堤防機能を維持します。

補修するにあたり、地域の方々と一緒に「ばんだごうらの明日を考える懇談会」を開催しており、懇談会のご意見を参考にして、川渡り神幸祭や周辺景観を考慮して実施します。



川渡り神幸祭



老朽化して損壊しているパラペット堤防



現在のパラペット堤防



整備後のパラペット堤防のイメージ



地域の皆さんと意見交換会や現地調査を実施しています

施設の補修・改善（樋管の補修、護岸修繕、上屋設置、電動化など）

ひび割れや漏水などをおこしている施設やその周辺に対して、治水機能が劣っているものについて応急的に補修・改善を行います。また、洪水時、樋門などの操作する際の安全確保のため、上屋の設置や動力の電動化を順次進めています。

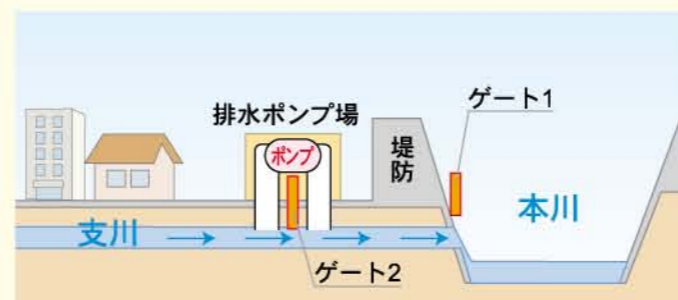


排水ポンプ場

遠賀川には洪水から暮らしを守る為に、たくさんの排水ポンプ場が整備されています。

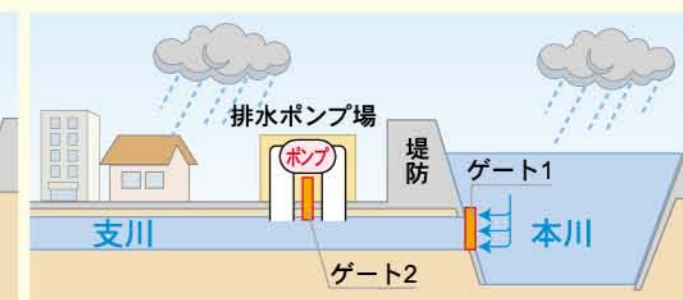
排水ポンプ場の役割

排水ポンプ場の仕組み1



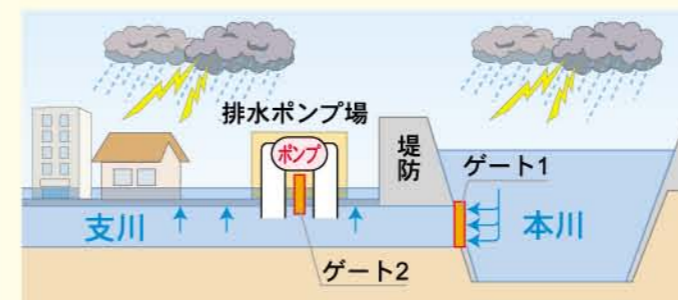
普段は支川の水位が本川より高いため支川から本川へ水が流れ込みます。ゲート1、ゲート2は開いています。

排水ポンプ場の仕組み2



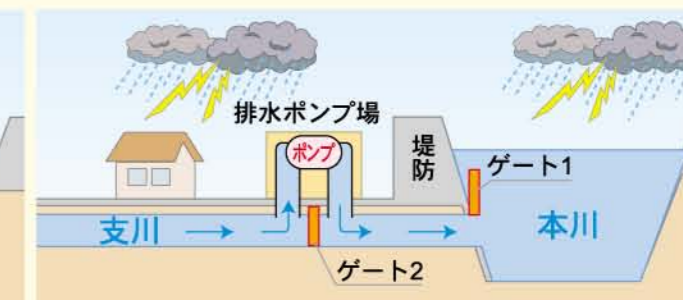
大雨などのときは本川の水位が高くなるため支川への逆流を防ぐためにゲート1を閉じます。ゲート2は開いています。

排水ポンプ場の仕組み3



しかし、雨が降り続けると支川の水は本川へ流れ込まず、住宅地や道路、田畑に溢れ出します。

排水ポンプ場の仕組み4



浸水被害をおさえるため、溢れ出しそうな支川の水をポンプ（排水機）の力によって本川へ押し出すことが排水ポンプ場の役割です。ゲート1は開き、ゲート2は閉じています。

遠賀川の管理

維持管理

除草 雑草が生い茂る堤防は陥没していても発見されにくい大変危険です。そこで、除草作業を行い堤防の安全性を確保しています。



除草作業



刈草のリサイクル(酪農での使用状況)

河川巡視 堤防及び河川管理施設等の点検や、水質事故や不法投棄の報告などを行い、適正な河川管理を行います。



巡視状況



ゴミ対策

遠賀川にはたくさんのゴミが捨てられており、遠賀川河川事務所管内に不法投棄は1018件(平成22年度)もありました。洪水によってそれらのゴミが遠賀川河口堰に到達し、回収・処分費に毎年約3,000万円が費やされています。

遠賀川河川事務所では、自治体や警察、住民団体の連携により不法投棄対策を行っています。きれいな遠賀川を取り戻すため、皆さんの協力が必要です。



ゴミ不法投棄状況



通常の河口堰の状況

出水後の河口堰に溜ったゴミの状況

水質事故対策

水質事故とは、河川などに油や化学薬品などの汚染物質が流出したり、魚類が大量に死んでいるなどの事故です。水質事故が発生すると、水道や農業用水への影響等により人々の生活に重大な被害を与えてしまうことがあるほか、河川の水質や生態系に大きな影響を与えることがあります。

遠賀川河川事務所では、事故が発生したときは自治体などと協力して、それ以上被害が広がらないような対策を行っています。

もし、油を流出させたときや、河川、水路などで異常を発見したときは、関係機関へ至急、通報をお願いします。



水質事故対策

油流出状況

オイル吸着マット

オイルフェンス

オイル吸着マット

遠賀川水系における不法係留船対策

遠賀川周辺環境の維持と治水の安全確保のために

遠賀川水系では、バブル期にプレジャーボートが増加した結果、多数の船舶(H22.9現在:775隻)が河川管理者の許可を得ずに係留され、河川の安全な流下を阻害する障害物になる等、災害をもたらす可能性があり、河川管理上の問題となっています。さらに、環境上の問題として、周辺住民に対する騒音やゴミ問題・違法駐車などの被害も発生しています。

治水上の問題点



河川の流れの阻害



乗り上げによる護岸の損傷



油漏れによる環境への影響



ゴミの不法投棄

環境上の問題点

遠賀川河口域における不法係留船対策の進め方

遠賀川下流部利用者会議 (H22/11~)

平成22年11月25日に地元自治体・地域住民・地元漁協・不法係留者の代表等を構成メンバーとする「遠賀川下流部利用者会議」を設置し、**地域の意見**を不法係留船対策に反映させていきます。

地域の意見

対策の報告

遠賀川河口域利用対策協議会 (H22/9~)

平成22年9月16日に学識経験者・地元自治体・警察・河川管理者等を構成メンバーとする『遠賀川河口域利用対策協議会』を設置し、不法係留船対策に関する専門的な議論を行っています。

専門家の意見

対策の報告



H23.9 第1回協議会

遠賀川河川事務所による不法係留船対策の実行

平成23年度の遠賀川河口域における不法係留船対策の動き

協議会・利用者会議の意見をいただき、今後の不法係留船対策の基本方針である**不法係留船に関する計画書の策定**と、平成23年度に設定する**第1期重点的撤去区域の公示**を平成23年2月に福岡県と一緒にを行いました。

H23年度は、第1期重点的撤去区域の不法係留船に対して、**行政指導・代執行等**を行っています。

重点的撤去区域(遠賀川河口域図)



*「遠賀川河口域における不法係留船対策に係る計画」は、遠賀川河川事務所HPで見ることができます。
<http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/illegal/index.html> (遠賀川河口域不法係留船対策 検索)

遠賀川の川づくりは地域と協働して進めます。

遠賀川の整備と併せて地域づくりを支援

行政・住民・各種団体等と連携しながら遠賀川を利活用する日常的な活動を具体化し、市民主体による利活用から管理までの仕組みを検討しながら地域（まち）の活性化につながるようまちづくりと連携した河川整備を進めていきます。

直方地区



市民部会

河川を活用したにぎわい空間（親水性・体験学習、憩いの場等）をつくり、まちとの連携を図り、地域と行政が一体となって河川整備について考えていきます。

芦屋地区



ワークショップ

遠賀川河口堰の魚道機能向上とともに、環境教育の場としての利活用を図るため、小学生も含めた住民ワークショップを行っています。

宮若地区



犬鳴川夢を語ろう会

宮若地区で行われている「犬鳴川夢プラン」にむけた意見交換会を行い、犬鳴川の利活用を地域の方々と考えていきます。

中島地区



第16回中島ワークショップ 現地調査

河川の多様な景観の復元・創出を目的に、中島自然再生事業を実施していますが、地域の皆さんと協働で進めていくため、中島ワークショップを定期的に行っています。

地域との協働管理

河川を利用する地域住民等、地域のニーズにあったよりきめ細かな河川管理を行うことにより、河川管理の質と効率の向上を図ることを目的に、現在、一部の区間において、堤防除草や河川パトロールを地域と協働して行っています。

自治体を通じて沿川自治会等に公募し、地域住民自らが実施することで、河川環境美化にも貢献しています。

また、自治会同士の横の繋がりが強化されることで、情報共有を行うことができ、地域連携の強化にも繋がっています。今後も協働管理のさらなる発展に取り組んでいきます。

堤防除草



刈り取り状況



焼却状況

河川パトロール



遠賀川流域交流会のご紹介

遠賀川流域交流会

遠賀川流域には、川に対する情熱や夢や希望を持ち、活発にボランティア活動をされている団体が約70団体あります。

各団体の方々が各活動の情報交換や川の将来など、それぞれの考えなどを語りあったりできる場として、遠賀川河川事務所の各出張所で交流会を開いています。

各交流会の交流会活動やボランティア活動に興味を持たれた方は、各出張所へお問い合わせください。お問い合わせ先は裏表紙に記載しています。

中間地区 なかま川づきあい交流会

発足 H18.10.17 定例会 偶数月1回

北九州市・中間市・遠賀地域の遠賀川及びその支川等において川に関わる活動をしている人及び行政機関の相互の情報交換をとおして、河川環境の向上及びより良いまちづくりに資する事を目的に取り組んでいます。



水辺の楽校 草刈り



笹尾川 カヌー教室

宮田地区 宮若川づくり交流会

発足 H13.5 定例会 2ヶ月に1回

これまでの意見交換や勉強会によって培った経験を活かし、交流会メンバーによる水質調査や水生生物調査、カヌー体験や沢登りといった環境学習的な活動を実施しています。



炭作成（水質浄化用）



水質浄化用の炭設置

直方地区 直方川づくり交流会

発足 H8.6.27 定例会 毎月2回

「50年後の遠賀川はこんな姿にしたい」とみんな意見交換しながら夢のある川づくり実現に向け、行政機関を交え夢プランの提案やリバーチャレンジスクールなど「川づくりはまちづくり、人づくり」をキーワードに活動を行っています。



リバー チャレンジ スクール



「夢プラン」提案式

飯塚地区 飯塚川づきあい交流会

発足 H9.9.1 定例会 毎月1回

川づくりに関する議論や勉強会を続けていき、様々な視点から「将来の遠賀川のあり方」についてビジョンを提案できるような活動を行い、また毎年開催されている「LOVE 遠賀川」においては、約2,000人の参加者とともに河川清掃を行っています。



川づくり勉強会風景



イベント「LOVE 遠賀川」の清掃作業

田川地区 田川ふるさと川づくり交流会

発足 H10.7.1 定例会 毎月1回

住民・行政が連携した「田川地域の川づくり」について議論しており、水質調査や清掃活動、間伐材を利用した花壇づくりなどの外に、次世代を担う子供たちへ環境教育として、リバースクールや出前講座等を実施しています。



間伐材を利用した花壇づくり



リバースクール ダガッパ学校

川の防災

洪水による被害を最小限にするために

平成22年7月豪雨のような記録的な雨が降った場合は、堤防などの河川管理施設だけでは洪水を完全に防ぐことが出来ません。国土交通省や県は、洪水による被害を少しでも軽減するために、河川の状況や雨量の状況など様々な情報を提供するとともに、日頃からの防災訓練に取り組んでいます。

遠賀川流域の雨量・水位観測所一覧

テレメーター・自記雨量観測所(国所管)	▲
テレメーター・自記雨量観測所(県所管)	●
テレメーター(水位観測所)(国所管)	▲
テレメーター(水位観測所)(県所管)	●
自記水位観測所	▲



防災情報を手に入れる

パソコンからアクセス

雨量や水位の状況を知ることができます。

川には避難準備や避難するときの基準となる水位を決めた水位観測所があります。雨量や水位の情報は、遠賀川河川事務所などのホームページで見ることができます。



遠賀川のことなら

<http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>
遠賀川河川事務所ホームページ



他の色々な川のことなら

<http://www.river.go.jp/>
リアルタイム川の防災情報



携帯電話からアクセス

携帯電話からでも雨量や水位の状況を知ることができます。

● ホームページアドレス

遠賀川河川事務所防災情報 http://www2.ocn.ne.jp/~onga/mobile_cctv/

国土交通省川の防災情報 <http://i.river.go.jp>

防災メール「まもるくん」
(ご利用には事前登録が必要です。) <http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp/>

福岡県の雨量・河川水位情報 <http://www.mobile-doboku.pref.fukuoka.lg.jp/>

● メールアドレス

河川情報アラームメール kasenslarm-info@qsr.mlit.go.jp



「まもるくん」
「河川情報アラームメール」
は事前に登録すると、
災害などの状況を
メールで知らせてくれます。



避難の目安

- 川には避難の目安となる、水位に応じた危険度のレベルがあります。
- ホームページや携帯サイトの水位情報に書いてある言葉の意味は以下のような事を指しています。
- 各自治体から発表される「避難準備情報・避難勧告・指示」などや河川情報に注意して、危険だと判断したら指示などがなくても早めの避難を心がけましょう。

水位に応じた危険度レベル

4 (危険)

3 (警戒)

2 (注意)

1

避難を完了

はん濫危険水位
堤防の決壊など重大な災害発生のおそれがある水位です。

自治体は、避難勧告などの発令を検討する段階です。
住民は、避難を判断する段階です。

避難判断水位
避難行動を行う目安となる水位です。

自治体は、避難準備情報の発令をする段階です。
住民は、はん濫に関する情報に注意が必要です。
水防団は、出動する段階です。

はん濫注意水位
避難行動の準備を行う目安となる水位です。

水防団待機水位
水防団が水防活動を行うために待機する水位です。

ついにはん濫が発生したぞ!

はん濫危険水位

避難判断水位

はん濫注意水位

普段の水位

〇〇川 はん濫発生情報発表

大丈夫かな...

はん濫危険水位に達したぞ!

はん濫危険水位

避難判断水位

はん濫注意水位

普段の水位

〇〇川 はん濫警戒情報発表

早めに避難しよう

はん濫危険水位に達しそう!

はん濫危険水位

避難判断水位

はん濫注意水位

普段の水位

〇〇川 はん濫警戒情報発表

大丈夫かな?

はん濫注意水位に達したぞ!

はん濫危険水位

避難判断水位

はん濫注意水位

普段の水位

〇〇川 はん濫注意情報発表

水防団待機水位

はん濫危険水位

避難判断水位

はん濫注意水位

普段の水位

〇〇川 はん濫注意情報発表

防災訓練

梅雨や台風などの風水害や地震などに対して、実際におきたときに被害を最小限に抑えるため迅速かつ適切な情報伝達、現場対応ができるよう水防訓練、地震防災訓練などを国土交通省、福岡県、関係市町村と協力して、毎年実施しています。



防災訓練 (土嚢積み工法)



防災訓練 (シート張り工法)

遠賀川河川事務所紹介

福岡県直方市の遠賀川と彦山川が合流する導流堤に位置しています。

遠賀川をはじめとして、支川の彦山川、犬鳴川などの河川整備、維持管理及び河川環境整備等を行っています。

●遠賀川河川事務所組織図



●遠賀川河川事務所 支所・出張所管理区域

なお、支所・出張所管理区域境の詳細については、遠賀川河川事務所にお問い合わせ下さい。



直方出張所



〒822-0002 直方市頓野字正境3330-1
TEL 0949-24-0083

河口堰管理支所



〒807-0001 遠賀郡水巻町大字猪熊10丁目7-1
TEL 093-201-1675

中間出張所



〒809-0001 中間市大字垣生1991-1
TEL 093-245-0154

宮田出張所



〒823-0003 宮若市本城422-6
TEL 0949-32-0364

飯塚出張所



〒820-0002 飯塚市大字川島729-1
TEL 0948-22-1410

田川出張所



〒825-0017 田川市寿町7-54
TEL 0947-44-0568



遠賀川河川事務所

〒822-0013 直方市溝堀1丁目1-1
TEL 0949-22-1830



●遠賀川河川事務所ホームページ

遠賀川河川事務所ホームページには防災情報・リアルタイム雨量水位情報、遠賀川についての情報、記者発表資料、トピックスや流域イベント情報など様々な情報が入手できます。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>